

# NAGANO ROKIN DISCLOSURE

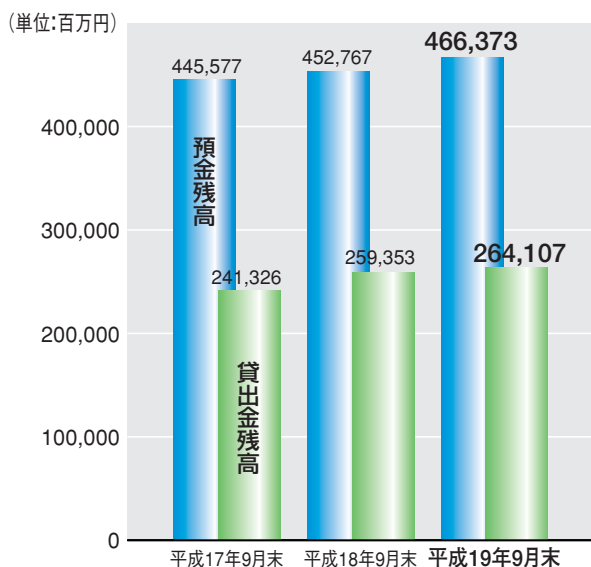
2007

長野ろうきん  
中間ディスクロージャー誌



## ■預金・貸出金の残高推移

平成19年9月末残高は、預金466,373百万円となり、今期も順調な増加状況となっています。貸出金は264,107百万円となっています。



※預金残高には譲渡性預金を含んでおりません。

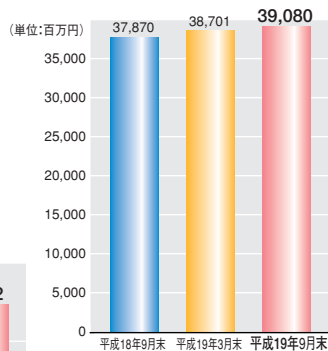
自己資本比率の高さが  
経営の安定性をみるポイントとなります。

## ■自己資本の額と自己資本比率

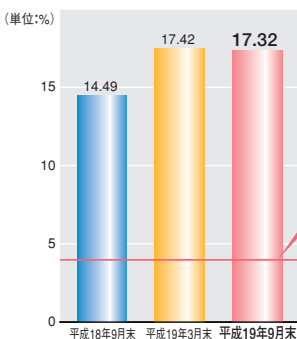
自己資本比率は、国内基準である4%を大きく上回る17.32%となりました。

自己資本の額（基本的項目）は内部留保の積立等により39,080百万円となりました。

### 【自己資本の額】 (基本的項目)



### 【当庫の自己資本比率】



(海外拠点を有しない金融機関)

国内基準は

**4.00%**

以上です。それを下回る場合は、「早期是正措置」の対象になります。

(注) 自己資本比率について、平成18年9月末以前は「旧基準」、平成19年3月末以降は「新基準」に基づき算出しています。

<旧基準>

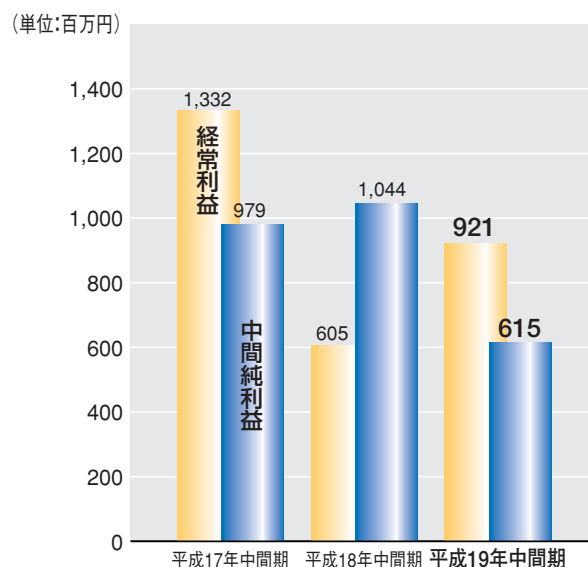
労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、労働金庫及び労働金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成9年大蔵省・労働省告示第1号）

<新基準>

労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、労働金庫及び労働金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号）

## ■利益の推移

前期における貸倒引当金の取崩益の影響により、中間純利益は減少いたしました。なお、本業の収益を示す経常利益は順調に推移しています。



金融機関の健全性を見るには、  
不良債権の状況を知る必要があります。

## ■リスク管理債権について

### ●リスク管理債権

平成19年9月末における貸出金の不良債権等の状況は、「破綻先債権」「延滞債権」「3か月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」の合計で2,811百万円となり、総貸出金に占める割合は1.06%という低水準を維持しています。

また、その合計額2,811百万円のうち、2,735百万円は担保や保証協会等の保証で債権の保全が図られており、債権の回収可能性を検討した結果、50百万円の個別貸倒引当金を計上し、万全の保全措置を図っています。



## 貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	平成18年9月末	平成19年9月末
現金	3,249	3,658
預け金	74,577	81,752
金銭の信託	590	589
有価証券	152,363	151,966
貸出金	259,353	264,107
その他資産	5,078	5,273
有形固定資産	3,592	3,540
無形固定資産	3	7
繰延税金資産	1,208	1,199
債務保証見返	569	521
貸倒引当金	△69	△65
(うち個別貸倒引当金)	(△63)	(△58)
合計	500,517	512,551

(単位:百万円)

負債及び純資産の部	平成18年9月末	平成19年9月末
預金積金	452,767	466,373
譲渡性預金	5,216	2,114
その他負債	1,673	1,991
代理業務勘定	8	7
賞与引当金	194	195
役員賞与引当金	1	1
退職給付引当金	2,187	2,246
役員退職慰労引当金	27	18
債務保証	569	521
負債の部合計	462,646	473,471
出資金	1,852	1,850
利益剰余金	36,351	37,465
利益準備金	1,852	1,851
その他利益剰余金	34,498	35,614
処分未済持分	△1	△0
会員勘定合計	38,201	39,316
その他有価証券評価差額金	△331	△235
評価・換算差額等合計	△331	△235
純資産の部合計	37,870	39,080
合計	500,517	512,551

## 主要な事業の状況を示す指標

(単位:百万円)

項目	平成18年中間期	平成19年中間期
経常収益	4,442	4,815
経常利益	605	921
中間純利益	1,044	615
業務純益	650	965
純資産額	37,870	39,080
総資産額	500,517	512,551
預金積金残高	452,767	466,373
貸出金残高	259,353	264,107
有価証券残高	152,363	151,966
出資総額	1,852	1,850
常勤従業員数(人)	379	376

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	平成18年中間期	平成19年中間期
経常収益	4,442	4,815
資金運用収益	4,304	4,604
貸出金利息	2,977	3,122
預け金利息	310	398
有価証券利息配当金	956	1,016
その他の受入利息	61	66
役員取引等収益	87	92
その他業務収益	36	93
国債等債券売却益	8	35
その他の業務収益	28	58
その他経常収益	12	24
株式等売却益	9	4
その他の経常収益	2	20
経常費用	3,837	3,893
資金調達費用	184	576
預金積金利息	181	571
譲渡性預金利息	2	5
役員取引等費用	313	317
その他業務費用	375	33
国債等債券売却損	362	32
その他の業務費用	13	0
経費	2,938	2,931
その他経常費用	25	34
貸出金償却	0	0
株式等売却損	2	5
金銭の信託運用損	18	23
その他の経常費用	4	4
経常利益	605	921
特別利益	887	14
特別損失	20	2
税引前中間純利益	1,472	933
法人税・住民税及び事業税	428	304
法人税等調整額	△0	14
中間純利益	1,044	615

## 主要な業務の状況を示す指標

(単位:%)

項目	平成18年中間期	平成19年中間期
資金運用利回	1.75	1.84
資金調達利回	0.08	0.24
資金調達原価率	1.35	1.48
資金利鞘	0.40	0.36
預貸率(未残)	56.62	56.37
預証率(未残)	33.26	32.43

※預貸率・預証率  
金融機関が調達した資金(預金積金・譲渡性預金)のうち、貸出金と有価証券で運用している割合をそれぞれ表しています。

### 金額、比率の表示方法

- 金額単位 (1) 各表に表示した金額単位未満の端数は切り捨てて記載しています。  
(2) 小計、合計等の合算は、円単位まで算出し、単位未満を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額が一致しない場合があります。
- 諸利回り・諸比率 小数点第3位を切り捨てし、第2位までを記載しています。

本誌は、当金庫の経営内容を多くの皆様にご覧いただくために、平成19年9月末時点の経営情報を取りまとめ報告するものです。半期決算は法定されておりませんので、会計監査人監査の対象となっております。

## いつもそばにいる“生活応援バンク” 「あなたの近くにもっと“ろうきん”」

働く人たちのお金を、働く人たち自身の手で、  
働く人たちのために運用する金融機関として、  
長野ろうきんは昭和26年（1951年）に誕生しました。  
働く人たちのための金融機関がないという当時の金融制度のなかで、  
働く仲間がお互いを助け合うために  
資金を出し合ってつくった協同組織の金融機関です。



### ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

### 長野ろうきんの概況

名 称	長野県労働金庫	常勤役職員数	376人(男267人、女109人)
本 店 住 所	〒380-8611 長野県長野市県町523番地	店 舗 数	20店舗、3出張所、7ローンセンター
電 話 番 号	(026) 237-3700	出 資 金	1,850百万円
ホームページ	<a href="http://www.nagano-rokin.co.jp/">http://www.nagano-rokin.co.jp/</a>	預 金 残 高	468,487百万円
創 立	昭和26年（1951年）12月	貸 出 金 残 高	264,107百万円
代 表 者	理事長 瀧澤 一夫		

※常勤役職員数以下は平成19年9月末時点で記載しています。  
※預金残高は譲渡性預金を含みます。